

## COMシティでのイベントをプロデュースと運営をしました

### 国際社会学科

令和4年10月15日(土)、16日(日)黒崎コムシティにおいて、北九州市主催の『ひとみらい交流マンス』の一環として、「ひとみらい☆フェスタ」が行われました。このイベントは、コムシティ10周年記念ということで、今回初めて開催された、黒崎コムシティ内にあるひとみらいプレイスの施設の合同イベントでした。

このイベントでは、国際社会学科の3年松井ゼミの7名、2年福西ゼミの8名が「みんなで脳トレ(△▽△)」というイベントを、共同で企画から運営までを実施しました。(絵文字もタイトルの一部です。)

コロナ禍でなかなかイベントごとが中止されたこの数年間。学生も思うような大学生活が送れなかった中でイベントの企画や運営をする機会はとても貴重な体験だったと思います。近隣の小学校へのチラシ配りや、ポスティングを実施し、2日間で計100名を超える家族連れの来場者があり、双方ともに大満足の内容でした。



受付にはルイージが。その奥にはマリオとあの土管が！

次の文章は、このイベントの運営に携わった3年松井ゼミの学生の手記となります。

「今回のコムシティで開催されたひとみらいフェスタに松井ゼミで参加することで、ゼミ生達との交流が増え、さらに絆が深まったと思います。自分たちはふたつのブースを作り、ひとつは今小学生に人気なスマブラでトーナメントを開きました！ もうひとつのブースでは、昔のゲームと現代のゲームを準備して親子と一緒にゲームを楽しめるブースに仕上げました！ 昔のゲームは親が子どもの頃よく遊んでいたファミコンを準備し、もう1台は現在人気の任天堂Switchを準備しました。ファミコンをする時は親が子供に遊び方を教え、任天堂Switchをする時は子供が親に操作方法などを教えることで、親子でゲームをして盛り上がる空間を提供できたのではないかと思います。」(榎本航己)



大画面でのプレイに、参加したちびっこたちも大興奮！

「今回の活動で沢山の方々と交流することが出来ました。1日目は2年生が理科実験をして、私たち3年生はレトロゲームやスマブラ対戦バトルなどゲーム機械を主体としたイベントをしました。準備をしている時、ゼミのみんなで仲良く装飾したり、進んで協力したり、積極的に活動できました。当日お客さんと最初に交流す

る受付をしました。沢山の小さいお子さんが楽しそうに入っていき姿を何回もみて今回のイベントに参加して良かったなと思いました。イベントを運営する経験ができ、2年生とも繋がりができ、色々なことを経験出来たのでまた機会があれば参加したいです。(吉高結菜)



準備期間は7月から10月半ばまでの3カ月半でした。このような熱心な話し合いも幾度となく展開されていました。成功の裏にはこのような地道な努力があったのです。

「松井ゼミに入って初めてのゼミでの本格的活動でした。いつも通りゼミの教室に入った時に初めて片岡さんとお会いして、10月にコムシティでひとみらい交流というイベントがある事を聞いて、乗り気じゃなかったのが懐かしいです。初めて2年生のゼミの方達と協同で活動して親睦を深める事が出来たのは貴重な時間と経験だ



スーパーマリオブラザーズの世界観を再現したレイアウトを作成中。これらをすべて手作りで作り上げた3年松井ゼミの皆さんの発想と努力と行動力、素晴らしいですね。

ったと思います。夏休みも各々大学で集まって

企画の立案や、内容の詳細決めや、制作物のための材料調達に励んだ事はゼミの人達とも仲を深める良い機会になりました。」(上村慎仁)

「今回、子供たちにレトロゲームから最新のゲームまでを体験してもらう企画をしました。企画立案から準備、広告活動、当日にはお客さんの案内や補助などみんなで役割を分担し、それぞれがそれぞれの場所で責任を持って活動しました。今では触れることがほとんどないレトロ



COMシティが用意してくれた着ぐるみを着て、宣伝もしました。とても暑かったそうです。お疲れさまでした!!

ゲームや今主流の最新のゲームまでを揃えて子供たちに体感してもらいながら体験してもらう、一緒に来た親御さん達には昔のゲームを見て懐かしさを感じながら親子で楽しんでもらって親睦を深めるということが出来ました。このような市が主催のイベントに学生が関わることは

中々ないことなので、就活という大きなイベントの前に経験できたのは良かったなと感じました。」(多和田裕介)

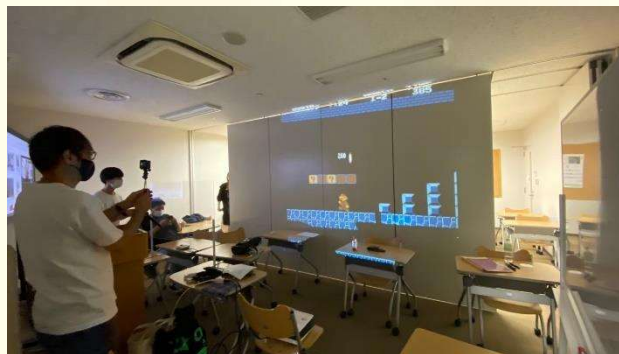
「今回福西ゼミと合同で行われたひとみらい交流プレイスに参加しました。私たちはマリオやスマブラなどのゲームをして、子供たちと一緒に遊びました。準備がすこし大変だったけどゼミのみんなで協力して仲を深めることができとても良い思い出になりました。この企画がないと関わることがなかった人たちと関わることができました。地域の人や子供たちと関わることができ、イベントも楽しんでもらえてとても良い経験になりました。」(槇野萌)



受付業務も立派な仕事。来場者のチェック中の様子です。

「今回ひとみらい交流プレイスの2日目に行われたスマブラのトーナメントやスマブラなどのゲームイベントを行いました。このイベントにあたっての準備ではゼロからのスタートだったので分からないことも多く悩むことが多かったのですが、皆で意見を出し合ったことで期間内に進めることが出来ました。イベント当日は実際に子供たちが私達の作った飾りをキラキラした目で見て、またゲームも楽しそうにしてくれていたの、今まで頑張って準備をしてとても良かったです。今回このようなイベントに携わることが出来て勉強になりましたし、とても良

い経験でした。」(田中綾)



準備の際のデモの様子です。このような感じで何度も試行錯誤を重ねながら、イベントを作り上げていきました。

次は、2年福西ゼミの学生の手記です。

「黒崎の地域を盛り上げるため、実験をテーマにした割り箸鉄砲、空気砲、ピンポン玉、触れるシャボン玉を材料から揃えて作り、子どもたちと一緒に遊びました。コロナウィルスによって人と触れ合う機会が少なくなったが久しぶりに今回のイベントでみんなと活動できてよかったです。地域の人や子どもたちと関わることができ、いろんな人と会話や協力して作成することができたし、きてくれた人も楽しそうに遊んでいたため大成功だと感じました。」(飯田廉叶)



2年福西ゼミは当日、白衣を着用。でんじろう先生よろしく理科実験の雰囲気を出しながらのイベント運営でした。

「今回の活動では、当日までの準備が多く、大変でした。理科実験だったため、実際に本当に

作ることができるのかということやもっと他に良いやり方や作りやすい方法を模索して、何度も実験を重ねることが大変でした。しかし、この活動を通して科学に対する理解が深まったことはもちろん、3年生との繋がりができたので参加して良かったと思いました。また、機会があればぜひ参加したいです。」(松尾あづみ)



当日の会場内の様子。ちびっ子たちが大学生のお兄さんお姉さんと楽しく学んでいることが、うかがい知れますね。

「今回私たち福西ゼミは黒崎のコムシティで行われたひとみらい交流プレイスに参加させていただきました。今回福西ゼミはさまざまな理科実験を行いました。準備段階では、実際に実験をしてみてうまくいくかやってみたり、装飾の準備をしたりといったことを、していました。当日は訪れた子供たちと一緒に実験を行いました。小学生が多かったのですがさらに小さい保育園生くらいの子もいて、とっても興味津々に実験をしてくれてとても楽しかったです。準備している時お客さん来るかなとか心配してたけど、多くの子供たちが参加してくれて嬉しかったし、何かを企画して準備、運営することもあまりない機会だったので参加出来てとてもいい経験になりました。」(桑原みずほ)

「今回黒崎の街を盛り上げる為に、老若男女問わずに楽しめるイベントを開催しました。スーパーボールやゴム鉄砲、空気砲を一緒に作り、2

日目にはゲーム機を使って対戦バトルなどを行い楽しめる環境を作りました。今回のイベントを通して、色んな事を学ぶことが出来ました。イベントに来る人は色んな人に出会い、英語を話す子供だったり、元気な子や大人しい子、年上の人、その人たちにあった教え方をしたり、個人的にもコミュニケーション能力が上がったと思います。どの世代の人たちも笑顔で帰ることができ、街を盛り上げることが出来たと感じました。」(小宮 怜)

「活動内容として、企画の立案やそれに向けた事前準備、引きつける見出しや広告作成、そして当日は、理科実験の内容説明や会場案内などをローテーションでゼミみんなで行いました。地域との触れ合いの機会が減った今、こうやって交流して楽しんでもくれる人たちの姿を見て、達成感やいつもとは違う喜びを感じることができました。また、この企画がなければ関わらなかった学生や生徒、先生とも助け合い仲を深められるいいきっかけになりました。集客や企画の内容など考える視点や難しさを学ぶこともできたので、これからの生活にも生かしていこうと思います。」(夏田 唯)



イベント開催に向けての初回のミーティングの後の集合写真。終了後に集合写真を撮り忘れてしまったのでした。

学生たちの成長を実感できるイベントでした。みなさん、お疲れさまでした。